

田辺のぶお 後援会報



成熟した幸せな町づくりを目指して

大泉町議会議員 田辺のぶお



暗い話題が多い昨今ですが、先々月、京都大学の山中伸弥教授が、ノーベル医学・生理学賞を受賞し、久々に明るい話題を提供してくれました。

山中教授は、あらゆる細胞に分化する能力がある i P S 細胞（人工多能性幹細胞）を開発し、患者自身の細胞を移植して病気やけがを治療する「再生医療」への道を開きました。その功績が世界から高い評価を受け、今回の栄えある受賞となりました。

この山中教授の座右の銘は、「**Vision & Hard Work**」（ビジョン&ハードワーク）
「目的(展望)をはっきり持って、それに向かって懸命に働くということ」だそうです。
「ビジョンがないとハードワーク（作業）のムダ使いになる。」と言っています。

年々厳しくなっている町の財政事情への対応策として、無理やムダをなくして経費を節約するのは当然ですが、ただひたすら緊縮財政に努めていくだけでは、じり貧になるばかりです。**大胆な発想による展望**をもち、町民の多くが幸せと感じる安定した町づくりを、力強く進めて行かなくてはなりません。今の大泉町に求められているもの、それは、まさしく「**Vision & Hard Work**」ではないでしょうか。

私が、皆さまの温かいご支援を受けて大泉町議会議員となり、早4年の歳月が流れようとしています。教職を途中で辞してこの道を選択したことについて、一時迷いもありましたが、今では、自分がやるべきことや、自分でなければできないであろうことも、だんだん見えるようになってきました。

残された任期は僅かとなりましたが、私自身も「**Vision & Hard Work**」を座右の銘として、これからも、使命感をもって鋭意活動していく所存です。

●議員としての主な役職

- 福祉文教常任委員会副委員長
- 邑楽館林医療事務組合議会議員
- 大泉町外二町環境衛生組合議会議員
- 西邑楽土地開発審議委員会委員
- 議会だより編集委員会委員

●議会活動（課題を把握し町執行部に提言するための先進地行政視察）

- 長野県岡谷市・・・放課後子どもの居場所づくり事業について
- 長野県下條村・・・出生率を伸ばした小さな村の大きな挑戦について
- 秋田県湯沢市・・・安心生活創造事業について
- 秋田県横手市・・・議会改革について
- 埼玉県深谷市・・・学校問題のサポート体制について

◆改めて知る人物主義の四年間◆

かつて「町議」と言えば、「その地域の代表者」的な考えを基準にして、区長や区の役員経験者等、地域のリーダー的な存在の人が推薦されることが一般的でした。

しかし今では、議員定数の削減等もあり、地域という枠が外れ、町政全般に改革意欲をもつ人が町議会に進出するようになりました。一方、地方行政の動向に無関係ではられない地元企業や、政党からの議員輩出の流れも定着しました。

ところで、私は仕事からからも、町内外のいろいろな議員に接する機会がありますが、率直に言って、「この方が本当に町政全般を見渡した政策を実現する見識、信念、行動力を有した人なのだろうか」という、素朴な疑問を感じるがあります。

また、地方で見られる多くの選挙において、候補者の選挙運動時の言動と、当選後の言動に著しい差異や変容が見られることを、大変残念に思っています。有権者の側も、支持者として期待して送り出した自分たちの代表が、「どんな活動をしているのかを知らないお任せ主義」では、無責任というものです。

私が、議会だよりを毎回読み、議会を何回も傍聴して感じるのは、「議会で一般質問した」は実績ではなく、「必要だと確信していることに対しては、実現に向けて手を尽くし、継続して取り組む」ことが重要だということです。その点、詳細は省きますが、田辺信雄君の一期4年間の活動は、「支持したことが決して間違いではなかった」と自信をもって言えるもので、「面識はありませんが期待できる方だと聞いています」という町民の方からの声が、そのことを如実に裏付けています。

ただここで、「面識がない」という言葉は、私自身にとっては大きな反省を迫るものです。課題山積の大泉町を、「希望の持てる町」へと変えられる力を秘めた「田辺信雄君」の実像を、一人でも多くの方に知っていただく必要があります。今後、より一層努力致しますので、よろしくお願い申し上げます。



■福祉文教常任委員会の予算・決算調査等での要望内容（一部）

○町内全小中学校に特別支援教育担当教員の配置を要望→学校教育課

平成 22 年度から、町内全校に特別支援教育等を担当する生徒指導支援員を各校 2 名ずつ配置

○児童の熱中症防止の観点から、小学校の運動会実施時期の変更を要望→学校教育課

平成 24 年度から、運動会実施時期を 9 月中旬から 9 月下旬に変更

○児童虐待防止・児童生徒の自殺防止のための全教職員研修の実施を要望→学校教育課

未実施→未然防止のためには、教職員の実態認識や理解の深まりが必要と思うため今後も要望予定

○町のホームページに「大泉かるた」（全読み札・絵札）、「修復された埋蔵文化財」の紹介サイト開設を要望→スポーツ文化振興課

「全大泉かるた」の紹介サイトは開設済み、「修復された町の埋蔵文化財」紹介サイトは検討中

■田辺のぶお 生活環境改善活動取り組み事例（平成 24 年度）



拡幅工事中の道路



道路の拡幅
(4m→6m)

期待される効果

- ・緊急車両の通行困難区域縮小
(大型消防車も進入可能)
- ・交通弱者の安心感・安全性向上
- ・生活環境の利便性向上
- ・地域の活性化
- ・町政への信頼感向上



側溝の漏水箇所改修



冠水管所の改善



農業用水路の改修